# 維持管理要領書

### 横向流夾雑物除去接触ろ床循環方式

# ダイエー浄化槽 FCH 5 • 7 • 10 型

この「維持管理要領書」をよくお読みになり、正しい維持管理をおこなってください。

#### 目 次

| 1. 維持管理および       | が法定検査について   |          |
|------------------|---|----------|
| 2. 保守点検につい       | ,ヽて   |          |
| 3. 清掃について        | 19  | 1        |
| 4. アフターサービ       | スについて 20  | )        |
| 〈参考〉<br>使用開始直前保守 | F.点検チェックリスト22   | <u>.</u> |
| 保守点検記録票          | 24  |          |
| 清掃記録票            | 26  | i        |
| 仕様•寸法表           | 28  |          |
| ⚠注意              | 維持管理要領書内の警告および注意表示のある箇所を浄化槽の維持<br>管理をおこなう前に注意深くお読みになり、よく理解してください。 | :        |

### DAIE 大栄産業株式会社

## 安全上のご注意

作業を始める前にこの「安全上のご注意」をよくお読みになり適切に維持管理を行ってください。また、お 読みになった後は本書を大切に保管しておいてください。

次に掲げる事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、危害や損害を未然に防止するためのものです。 また、それぞれの事項は、危害や損害の大きさと切迫の度合いを明らかにするために、誤った取り扱いをす ると生ずることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに区分しています。しかし、「注意」の欄に記載した 内容でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容で すので必ずお守りください。

本書では、以下に示すシンボルマークを使っています。



この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重 傷を負う危険が想定される内容を示しています。



この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危 険及び物的損害の発生が想定される内容を示しています。

次に掲げる事項を守らないと事故が生じた場合は、維持管理をした人の責任を問われるおそ れがあります。

#### △ 警告 1)作業中の酸欠などの事故防止

槽内に入る場合は、必ず槽内の酸素濃度・硫化水素濃度を測定し、その安全を確かめてくだ さい。また、槽内で作業をするときは必ず強制換気を行ってください。

これらの注意を怠ると、人身事故(死亡事故)の発生するおそれがあります。

### **企業者 2)感電・発火、巻き込まれ事故防止**

- ①ブロワ・制御盤の近く(50cm以内)には、ものを置かないでください。
- ②電源コードの上には、ものを置かないでください。
- これらの注意を怠ると、感電・発火の<u>生じるおそれがあります。</u>
- ③ブロワの点検後、外したカバーは必ず取り付けてください。
- カバーを取り付けないと、巻き込まれ事故のおそれがあります。
- ④電源プラグは、ほこりが付着していないか確認し、がたつきのないように刃の根本まで確 実に差し込んでください。

ほこりが付着したり、接続が不完全な場合には、感<u>電や火災の生じるおそれがあります。</u>

### △ 警告 3) マンホール・点検口などからの転落・傷害事故防止

- ①作業終了後、マンホール・点検口のフタは、必ず閉めてください。また、ロック機構のあ るものは、必ずロックしてください。
- ②マンホール・点検口などのフタのひび割れ・破損など異常を発見したら、直ちに取り替えてくださ

これらの注意を怠ると、転落・傷害の生じるおそれがあります。

### △ 警告 4) 消毒剤による発火、爆発、有害ガス事故防止

①消毒剤は強力な酸化剤です。

消毒剤には、有機系の塩素剤と無機系の塩素剤の2種類があります。

これらを一緒に薬剤受け(薬剤筒)へ入れないでください。

留意:有機(イソシアヌル酸)系の塩素剤には、品名:ハイライト、ポンシロール、メルサン、 マスター、ペースリッチ等があります。

無機系の塩素剤(次亜塩素酸カルシウム)には、商品名:ハイクロン、トヨクロン、 南海クリヤー等があります。

②消毒剤を取り扱う際には、目・鼻・皮膚を保護するため、ゴム手袋、防塵マスク、保護メ ガネなどの保護具を必ず着用してください。

③消毒剤を廃棄する場合は、販売店などにお問い合わせください。

発熱・火災の危険がありますので、消毒剤はごみ箱やごみ捨て場に絶対に捨てないでください。

留意:消毒剤の取り扱い上の詳細な注意事項は、現品の包装材に記載されていますので、そ ちらの方をよくお読みください。

これらの注意を怠ると発火・爆発・有害ガスの生じるおそれがあります。

④浄化槽に入れる消毒剤は、浄化槽を使用開始するまでは開封しないでください。

これらの注意を怠ると、消毒剤から塩素ガスが発生し、金属類が腐食するおそれがあります。

#### 注意 5)日常点検の留意事項

- ①担体流出防止板および配管類に過剰な荷重をかけないでください。
- これらの注意を怠ると、浄化槽として機能しなくなったり破損するおそれがあります。
- ②マンホール・点検口の枠およびフタが鋳物または鋼製の場合には、定期的に錆を除去して 塗装してください。
- ③保守点検の技術上の基準・清掃の技術上の基準など諸法令およびメーカーの維持管理要領書を確実に守って維持管理をしてください。

## 1. 維持管理および法定検査について

浄化槽法および浄化槽法に基づく政省令では、次のことが定められています。

#### 1-1. 管理者の義務

- (1) 使用開始の報告
- (2) 使用開始直前の保守点検
- (3) 使用開始後は、環境省令で定める回数の保守点検、清掃の他、使用に関する準則の遵守
- (4) 使用開始後3ヶ月を経過した時点から5ヶ月以内におこなう法定検査
- (5) 毎年1回の法定検査
- (6) 保守点検、清掃の記録の保存(3年間)
  - ※なお、通常の場合、保守点検や清掃を管理者自らがおこなうことが出来ない場合は、浄化槽法に定められている保守点検業者(または浄化槽管理士)や浄化槽清掃業者に委託することができるようになっています。

#### 1-2. 保守点検業者の義務

- (1) 保守点検を委託できる者は、法の定めるところにより、浄化槽管理士あるいは都道府県知事の登録を受けた保守点検業者でなければなりません。
- (2) 浄化槽の保守点検は、浄化槽の保守点検の技術上の基準に従っておこなわなければなりません。

#### 1-3. 保守点検の時期および回数

最初の保守点検は、浄化槽使用開始の直前におこない、それ以降は、4 ヶ月に 1 回以上おこなってください。

#### 1-4. 清掃業者の義務

- (1) 清掃を受託できる者は、法の定めるところにより、当該業をおこなおうとする区域を管轄する市町村の許可を受けた清掃業者でなければなりません。
- (2) 浄化槽の清掃は、浄化槽の清掃の技術上の基準に従っておこなわなければなりません。

#### 1-5. 清掃の回数

清掃の回数は、環境省令の定めるところにより、通常の使用状態においては、毎年 1 回はおこなうこと になっています。

#### 1-6. 保守点検および清掃の記録の保存

浄化槽管理者は、保守点検、清掃の記録を作成し、3 年間保存しなければなりません。ただし、この業務を委託した場合は、委託を受けた者が記録を二部作成し、一部を浄化槽管理者に交付し、一部を自ら保存しなければならないことになっています。

#### 1-7. 法定検査

- (1) 浄化槽法第7条に基づき浄化槽使用開始後3ヶ月を経過した時点から5ヶ月以内に都道府県知事の指定する検査機関(指定検査機関)の水質等の検査を受けなければならない。
- (2) 浄化槽法第 11 条に基づき毎年 1 回、指定検査機関の水質等の検査を受けなければならない。

### 2. 保守点検について

#### 2-1. 使用前の点検確認と調整

通常の保守点検をおこなう前に、使用開始直前に浄化槽の製造、施工、内部稼働装置の機能等を点検確認することは、浄化槽の正常な運転のためにも、また保守点検・清掃作業に支障を生じさせないためにも極めて重要です。

#### 浄化槽の設置状況の確認

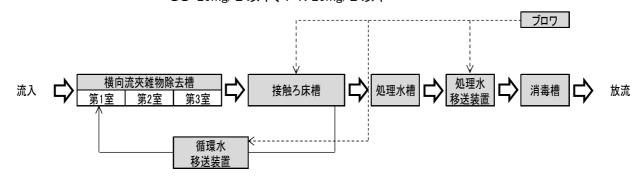
- (1) 実施設と届出書類の照合
  - ①設置された浄化槽と届出された浄化槽が同一であるかを申請書類等で照合確認してください。
- (2) 浄化槽周辺状況の確認
  - ①本体、ブロワ等が設置されている場所を観察し、保守点検および清掃作業に支障がないかを確認 してください。
  - ②浄化槽のマンホール等より雨水の流入のおそれがないかを確認してください。
  - ③浄化槽上部の利用状況について観察してください。特に上部が駐車場になっている場合は車輌用 仕様になっているか設計図書等で確認してください。
  - ④住宅の場合、風呂排水、台所排水が接続されていることを確認してください。 また、雨水配管が接続されていないことを確認してください。
- (3) 浄化槽内部の確認
  - ①マンホールを開け、保守点検・清掃作業が容易かつ安全におこなえるかを確認してください。
  - ②槽が水平に施工されているか確認し、各槽の水位関係、流入管底、放流管底等が正常かを確認してください。
  - ③目視により槽内壁、仕切板、各配管、その他の内部設備に破損等がないかを確認してください。
  - 4)配管途中に空気漏れがないか確認してください。
  - ⑤消毒剤を薬剤筒に入れてください。

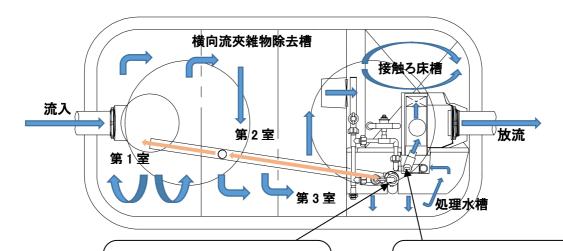
#### 2-2. 処理フローと特徴

処理性能:横向流夾雑物除去接触ろ床循環方式

処理性能:: 放流水 BOD 20mg/L 以下、COD 30mg/L 以下、

SS 20mg/L以下、T-N 20mg/L以下



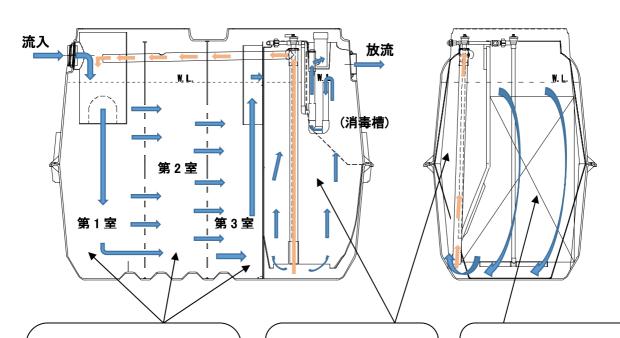


#### 循環水移送装置

逆洗汚泥や接触ろ床槽の硝化液等を横向流夾雑物除去槽第 1室に移送するためのエアリフトポ゚ンプ方式の移送装置です。

#### 処理水移送装置

処理水槽で固液分離した上澄水 を消毒槽に移送するためのエアリフト ポンプ方式の移送装置です。



#### 横向流夾雑物除去槽

流入汚水中に含まれる固形物 や油脂等の夾雑物及び二次処 理からの逆洗汚泥等を分離し、 分離された固形物を貯留するこ とで BOD や SS の低減を、また 二次処理槽からの硝化液を受 け入れて窒素の除去を行ない ます。

#### 処理水槽

接触ろ床槽で発生したSSを固液分離すると共に、上澄水を貯留することによりピーク流入時のSS流出を緩和します。

#### 接触ろ床槽

接触ろ材が設けられており、接触ろ材に付着した微生物の働きにより汚水中の 有機物の分解や硝化が行われます。

#### 2-3. 維持管理のポイント

#### 横向流夾雑物除去槽

- ・槽内に異物が流入していないか確認します。異物 があれば取り除きます。
- ・槽内水位を確認します。水位が高い場合は、処理 水移送装置の状態を確認し適切な対応を行ないま す。〔詳細 p.7〕

#### 接触ろ床槽

- ・槽内に旋回流が生じているか確認します。
- ·槽内 DO が 1mg/L 以上あるか確認します。
- ・散気装置のバルブの設定や散気管の詰まりを確認します。〔詳細 p.8-10〕
- ・接触ろ材の手動洗浄を行います。〔詳細 p.9-10〕

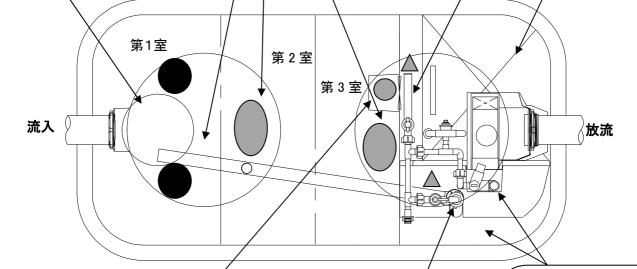
#### 流入バッフル

・バッフル内に異物が流入していないか確認します。異物や夾雑物があれば取り除きます。

〔詳細 p.7〕

#### 散気装置

・点検時にバルブの設定や散気 管の詰まりを確認します。詰まり がある場合は洗浄を行います。 [詳細 p.8-11]



#### 移行バッフル

・バッフル内に異物や 夾雑物が流入してい ないか確認します。 異物や夾雑物があ れば取り除きます。 〔詳細 p.7〕

#### 循環水移送装置

・バルブの設定を確認し、循環水量を測定します。また、配管内のスライム等を取り除きます。〔詳細 p.8〕

#### 処理水槽

・スカムが無いか確認します。 ある場合は横向流夾雑物除 去槽に移します。

#### 処理水移送装置

- ・オリフィスに閉塞がないか確認します。
- ・水位が上昇した時に揚水状態になるか確認します。

〔詳細 p11〕

- ●:バキュームホース挿入位置・注水位置
- ○:清掃時、注水位置

△:【緊急時】バキュームホース挿入位置

#### 【緊急時】の引抜について

- ●接触ろ床槽、処理水槽は引抜きの際、下部連通口を介して互いに水が移流します。
- 1. 接触ろ床槽からの引抜き
  - ① 毒性物質の流入等により、接触ろ床槽が機能不全となった場合
  - ② ブロワ停止などの不具合により、接触ろ床槽内に浮上したスカム等の異物を取り除く場合 ※散気管破損の恐れがあるため、散気管を取り外した後に作業をおこなうこと。
- 2. 処理水槽からの引抜き
  - ① 処理水槽に過度にスカム・底部汚泥が蓄積した場合

作業については、P19を参照してください。

### 2-4. 必要な器具および点検項目

必要な器具・機材を表2-1、主な点検項目を表2-2に示します。必要な機材は保守点検の前にあらかじめ用意しておいてください。

表2-1 必要な器具・機材

| 必要な器具・機材                             | 必要箇所   | 用途   |
|--------------------------------------|--|--|
| ひしゃく                                 | ・横向流夾雑物除去槽<br>・接触ろ床槽<br>・処理水槽  | <ul><li>異物、スカムの除去</li><li>採水</li></ul>   |
| ブラシ                                  | <ul><li>・流入管、放流管</li><li>・横向流夾雑物除去槽</li><li>・接触ろ床槽</li><li>・処理水槽</li></ul> | ・異物、スカムの除去<br>・槽内、移流口、オーバーフローロの洗浄  |
| ねじりブラシ                               | ·循環水移送装置<br>·処理水移送装置   | ・エアリフトポンプ、 移送管の洗浄  |
| 計量カップ<br>計量シリンダー<br>(1L、2L)          | •循環水移送装置   | ・循環水量の測定   |
| 汚泥堆積厚測定用具<br>または透明管 <sup>※</sup>     | ・横向流夾雑物除去槽<br>・接触ろ床槽<br>・処理水槽  | <ul> <li>・汚泥堆積厚およびスカム厚の測定<br/>(横向流夾雑物除去槽の清掃時期の判断)</li> <li>・汚泥堆積の有無確認<br/>(接触ろ床槽のばっ気状態の判断)</li> <li>・汚泥堆積の状態確認<br/>(循環水移送装置の運転状況の判断)</li> <li>※透明管はφ20~25mm、長さ2m程度が良い</li> </ul> |
| スカム破砕用具                              | ·横向流夾雑物除去槽<br>·処理水槽  | ・スカムの破砕  |
| 水温計                                  | ・横向流夾雑物除去槽<br>・接触ろ床槽   | ・水温の測定   |
| DO 計                                 | ・横向流夾雑物除去槽<br>・接触ろ床槽   | -DO の測定  |
| 透視度計                                 | •処理水槽  | ・透視度の測定  |
| pH 計                                 | ·処理水槽  | ・pH の測定  |
| 簡易測定器<br>(アンモニア態窒素、亜硝酸<br>態窒素、硝酸態窒素) | ・処理水槽  | ・アンモニア態窒素、亜硝酸態窒素、<br>硝酸態窒素の測定  |
| 残留塩素計                                | ·放流水   | ・残留塩素の測定   |
| 時計またはストップウォッチ                        | ·循環水移送装置   | ・循環水量の測定   |
| 工具                                   | ・ブロワ   | ・ブロワの修理等   |
| 保守点検記録票                              |  |  |

表2-2 主な点検項目

| 点検部位      | 点検項目  | 頻度   |
|-----------|---|------|
| 流入管渠      | ・点検升のフタの密閉状況<br>・滞水や漏水、異物等の堆積または付着していないか  | 4ヶ月毎 |
| 放流管渠      | ・滞水や漏水、異物等の堆積または付着していないか  | 4ヶ月毎 |
| 横向流夾雑物除去槽 | ・異物等の堆積または付着していないか・異常な水位の上昇はないか・スカムおよび堆積汚泥の生成状況・水温の測定・DO および透視度の測定・蚊・蝿等が異常発生していないか  | 4ヶ月毎 |
| 循環水移送装置   | ・循環水量の測定(循環水量は適正か) ・エアリフトポンプと移送管の掃除 ・配管内に生物膜等が多量に付着していないか   | 4ヶ月毎 |
| 接触ろ床槽     | <ul> <li>・異常な水位の上昇</li> <li>・ばっ気攪拌状況</li> <li>・発泡状況</li> <li>・水温の測定</li> <li>・DO の測定</li> <li>・堆積汚泥の生成状況</li> <li>・ろ材の洗浄</li> </ul> | 4ヶ月毎 |
| 処理水槽      | ・異常な水位の上昇<br>・スカムの生成状況<br>・堆積汚泥の生成状況  | 4ヶ月毎 |
| 処理水槽(処理水) | <ul><li>・透視度の測定</li><li>・pH の測定</li><li>・窒素の測定</li></ul>  | 4ヶ月毎 |
| 消毒槽       | <ul><li>・異物等が付着していないか</li><li>・処理水との接触状況</li><li>・沈殿物の生成状況</li><li>・消毒剤の消費状況</li><li>・残留塩素の測定</li></ul>                             | 4ヶ月毎 |
| ブロワ       | <ul><li>・稼働状況</li><li>・エアフィルターの洗浄</li></ul>   | 4ヶ月毎 |

#### 2-5. 点検方法と保守作業

各槽での点検項目と異常な状態の目安及び対策は以下のとおりです。

横向流夾雑物除去槽の整流板は、上部が可動しますが異常ではありません。破損などがなければ、正常に機能します。

#### (1) 横向流夾雑物除去槽①

| 点検項目                        | 点検方法                                 | 異常な状態   | 対 策   |
|-----------------------------|--------------------------------------|---|---|
|                             |                                      | ・汚泥が著しく流出している。<br>・汚物が著しく蓄積している。                    | ・堆積汚泥の状況を確認し、必要であれば清掃する。  |
| ①流入部・流入<br>バッフル・移<br>行バッフルの | 目視                                   | <ul><li>・流入バッフルにトイレットペーパー等が付着して閉塞している。</li></ul>    | ・異物をひしゃく等ですくい、横向流<br>夾雑物除去槽第1室へ移す。  |
| 点検                          |                                      | 注意 閉塞の有無に関わらず、<br>バッフル内に異物、スカム等があ<br>る場合は取り除いてください。 | これはトイレットペーパーを多量に使用している、あるいは使用水量が少ないために起こる。使用者に説明し、トイレットペーパーの使用量を少なくしてもらうようにお願いする。   |
| ②臭気                         | 嗅覚                                   | ・マンホールを閉じた状態で著しい臭気がある。                              | <ul> <li>●共通事項</li> <li>・立ち上がっていない場合は脱臭剤やシーディング剤を添加する。</li> <li>・使用条件(使用水量、異物の流入等)を確認し、異常があれば使用者に改善を促す。</li> <li>・臭突管を清掃する。</li> <li>・臭突管を設置する。</li> <li>●浄化槽付近に臭気がある</li> <li>・応急対策としてマンホール枠にパッキンを貼り付ける。</li> <li>●宅内に臭気がある</li> <li>・流入系統の配管に適正にトラップがあるかを確認する。</li> </ul> |
| ③スカム状況                      | │<br>│目視およびスカム<br>│厚測定用具、汚泥          | ・第3室でスカムが 100mm 以上ある。                               | •清掃する。<br>  |
| ④堆積汚泥の<br>状況                | 堆積厚測定用具の<br>差込み                      | ・第3室で濃度の高い汚泥が底<br>部より800mmまで堆積している。                 | ・清掃する。  |
| ⑤水位の上昇                      | 水準目安線から水<br>位までの距離を測<br>定            | ・水位の上昇が水準目安線から<br>100mmを超えている                       | <ul> <li>・移流口を点検する。</li> <li>詰まっている場合はブラシ等で洗浄する。</li> <li>・処理水移送装置(p.11)の点検をおこなう。</li> </ul>  |
|                             |                                      | ・水位が水位線より下がっている。                                    | ・漏水の可能性があります。<br>弊社までご連絡ください。   |
| 6異物の流入                      | 目視                                   | ・衛生用品や紙おむつ等が存在す<br>る。                               | ・使用者に異物を流さないように注意する。  |
| ⑦DO、水温の<br>測定               | DO 計、温度計にて<br>水面よりおおよそ<br>100mm 下で測定 | ・第2室流入側、循環水移送装置<br>の下辺りにおいて DO が 1mg/L<br>超         | ・循環水移送装置の移送量を減ら<br>す。   |
| ⑧油脂の流入                      | 目視                                   | ・油脂が多量に浮いていて、槽内<br>水が白濁している。                        | ・使用者に油脂類を多量に流してい<br>ないか確認し、多量に流している場<br>合は使用者に改善を促す。  |
| ⑨蚊や蝿の発<br>生状況               | 目視                                   | ・著しく発生している。   | ・プレート式殺虫剤やスプレー式殺<br>虫剤で駆除する。  |

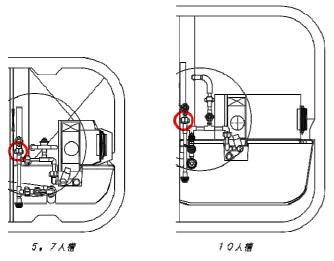
#### (2) 循環水移送装置①

| 点検項目   | 点検方法             | 異常な状態対策   |
|--------|------------------|---|
| ①循環水量  | 移送用バルブの設定<br>の確認 | <ul> <li>常に循環していない。</li> <li>循環水量が下表より極端に少ない、または多い。</li> <li>人槽 5 7 10 (縦管および横引管)</li> <li>がルブ開度(%) 70 72.5 85 水量(L/分) 2.5~3.1 3.4~4.3 4.9~6.2</li> <li>[設計値:循環水量は日平均汚水量の4倍]</li> <li>【循環水量を左表に則り調整する。</li> <li>【循環水量が多い】</li> <li>・散気管の洗浄をおこなう。</li> <li>・循環水量を左表に則り調整する。</li> </ul> |
| ②装置の汚れ | 目視               | ・配管内の生物膜の肥厚・異物の付着・堆積など。・循環水移送装置を洗浄する。<br>異常がない場合でも、点検毎に洗<br>浄と移送水量の調整を行って下さい。   |

#### (3) 接触ろ床槽(1)

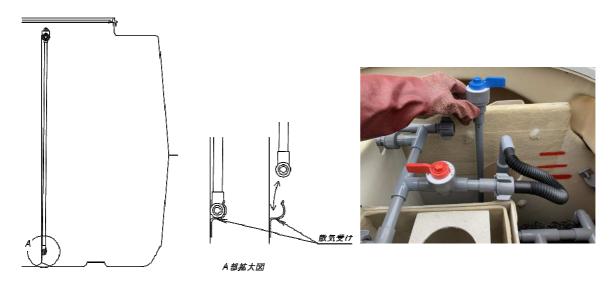
| 点検項目           | 点検方法                                 | 異常な状態  | 対 策   |
|----------------|--------------------------------------|--|---|
|                |                                      | ・異物がある。  | ・異物を横向流夾雑物除去槽第1室<br>へ移す。  |
| ① 槽内点検         | 目視                                   | <ul><li>・散気されていない。</li><li>・スカムとして汚泥が浮上している。</li><li>・汚泥が堆積している。</li><li>・水位が上昇している。</li></ul> | <ul><li>・ブロワを点検する。</li><li>・散気配管のはずれ、散気管の詰まりを点検する。</li><li>・槽内に多量のSSが浮遊、堆積している場合は自吸式ポンプを挿入し槽内水を引き抜いてください。</li></ul>   |
| ② 散気状況         | 目視                                   | ・散気が不均一である。  | <ul><li>・散気管が正常に取付けられている<br/>か確認する。</li><li>・散気管を取り外して洗浄する。<br/>次頁以降〈散気管の取り外し手順〉<br/>参照</li><li>・上記で改善されない場合は散気管<br/>を取り替える。</li></ul>                                      |
| ③ 発泡有無         | 目視                                   | ・著しく発泡している。 ・泡が仕切板を超えている。 使用開始時に洗剤が多い、気温水温の差が大きい、または生物処理が不完全な場合に発生する                           | <ul><li>・消泡剤をスプレー、添加する。</li><li>・シーディングをおこなう。</li><li>・洗剤の使用量が多い場合は使用者に適正量使用するようにお願いする。</li></ul>   |
| ④ DO、水温の<br>測定 | DO 計、温度計にて<br>水面よりおおよそ<br>100mm 下で測定 | ・DO が 1mg/L 未満。  | <ul> <li>・配管の空気漏れ、散気管の詰まりが無いか確認する。</li> <li>・散気管詰まりの場合は洗浄し、改善されなければ交換をおこなう。</li> <li>・配管の空気漏れが無い場合はブロワを点検する。</li> <li>・使用人員を確認し負荷が高いと想定される場合はブロワのランクアップ、増設を検討する。</li> </ul> |
|                |                                      | ・生物膜が肥厚し水流が確保でき<br>ていない。   | ・ろ材洗浄の実施<br>P10 の〈接触ろ材の洗浄方法〉参照  |
| ⑤ 接触ろ材         | 目視                                   | ・ろ材が閉塞している。  | <ul><li>・ブロワにホースを接続し、1.5m程度</li><li>VP 管 Ø 13 をろ材の各開口部へ挿入して洗浄する</li></ul>   |

#### 1. 散気配管のユニオン(〇部)を緩め、配管を抜く。





#### 2. 散気管を上方向へ持ち上げ、散気受けから外す。



#### 3. 作業後は、散気管を仕切板に沿わせて下方向に押し込み、散気受けに収める。

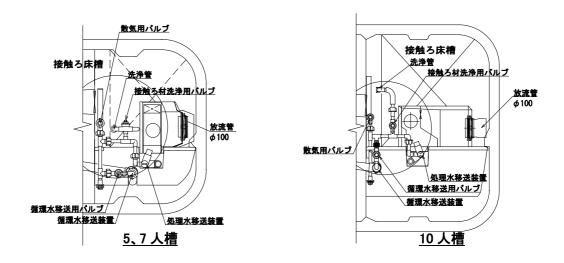


※実現場では槽内水がありますが、仕切板に沿わせて押し込めば散気受けに収まります。

#### <接触ろ材の洗浄方法>

接触ろ床槽のろ材は、生物膜が肥厚しすぎると処理水が悪化したり、ろ床の閉塞を生じる可能性があります。

#### ★点検時には必ず接触ろ材の洗浄と洗浄によってろ材から剥離した汚泥の移送を行って下さい。



#### •操作手順

ろ材洗浄および剥離汚泥の移送は次頁の手順で行ってください。

#### 【5.7 人槽】ろ材洗浄手順

接触ろ材洗浄用バルブを【開・・・開方向①】 にしてください。 1 流入側が流入側 散気用バルブ、循環水移送用バルブを【閉】に してください。 2 接触ろ床槽の放流側壁面から気泡が上がって いることを確認してください。 1~2 分経過後、接触ろ材洗浄用バルブを 【開・・・開方向②】に切り替えてください。 洗浄管の接続ユニオンを空気漏れが生じない 程度に緩めて下さい。 ※接続ユニオンを緩めることで洗浄管を回転移 動させることができるようになります。

洗浄管の操作部を操作して、洗浄管を徐々に回 転移動させながら接触ろ材洗浄を行ってくださ い。

(目安 2~3 分)

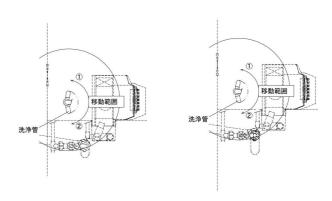
5

※洗浄は(平面的にバランス良く行ってください。

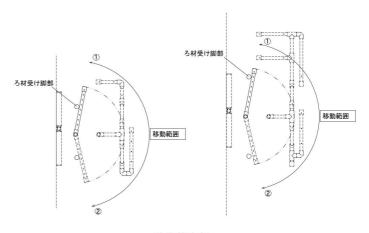




※5,7 人槽の洗浄管の移動範囲は右図の通りです。 接続ユニオンを中心に洗浄管が回転します。



洗浄管上部



洗浄管底部

5人槽 7人槽

6 洗浄終了後、洗浄管位置を元に戻し、接続ユニ オンを締めてください。



循環水移送用バルブを【全開】にし、剥離汚泥 を横向流夾雑物除去槽第1室へ移送してください。

(目安 1~2 分間)

7

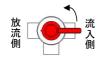
移送水のSS濃度が薄くならない場合は、移送を継続してください。

※横向流夾雑物除去槽から接触ろ床槽への汚泥の流出が認められた場合は、直ちに移送を停止してください。



剥離汚泥の移送終了後、散気用バルブを 【開】、接触ろ材洗浄用バルブを【閉】にし、循環 用バルブの設定を元に戻してください。

8







接触ろ床槽の散気が正常に行われていることを確認し、循環移送量の確認・再調整を行ってください。



1

接触ろ材洗浄用バルブを【開】、散気用バルブを【閉】にしてください。



2 循環水移送用バルブを【閉】にしてください。



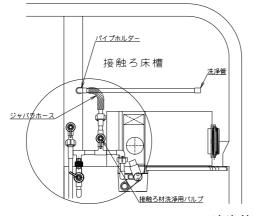
洗浄管をパイプホルダーから外し、移動させて接触ろ材全体の洗浄を行って下さい。 (目安3~5分)

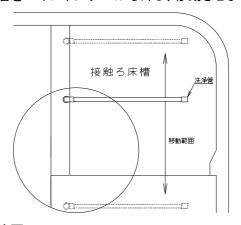
3

※洗浄は平面的にバランス良く行ってください。 接触ろ材への生物膜付着状況によって、洗浄 時間は増減させてください。



※10 人槽の洗浄管の移動範囲は下図の通りです。洗浄管をパイプホルダーから外し、移動させます。





洗浄管移動範囲

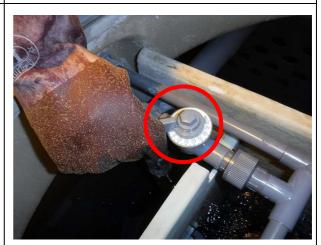
4 洗浄終了後、洗浄管位置を元に戻してパイプホ ルダーに固定してください。



循環水移送用バルブを【全開】にし、剥離汚泥を 横向流夾雑物除去槽第 1 室へ移送してくださ い。(目安 1~2 分間)

移送水のSS濃度が薄くならない場合は、移送を継続してください。

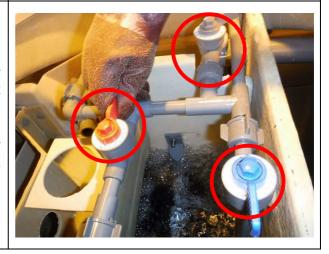
※横向流夾雑物除去槽から接触ろ床槽への汚泥の流出が認められた場合は、直ちに移送を 停止してください。



剥離汚泥の移送終了後、散気用バルブを 【開】、接触ろ材洗浄用バルブを【閉】にし、循環 用バルブの設定を元に戻してください。

6

接触ろ床槽の散気が正常に行われていることを確認し、循環移送量の確認・再調整を行ってください。

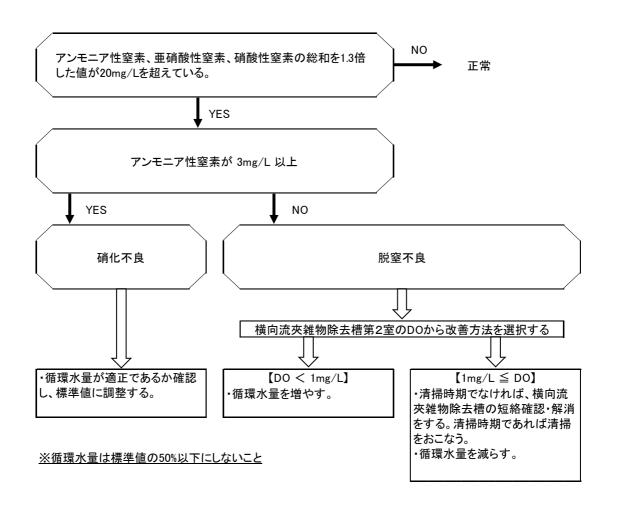


#### (4) 処理水槽および処理水移送装置

| 点検項目            | 点検方法                             | 異常な状態   | 対 策  |
|-----------------|----------------------------------|---|--|
| ①スカム状況          | 目視                               | <ul><li>・多量のスカムがある。</li></ul>                       | ・スカムをひしゃく等ですくい、横向流 夾雑物除去槽 1 室に移す。  |
| ②透視度の測<br>定     | 透視度計にて測定 (スカムの無い箇所で採水)           | ・透視度が 20cm未満  | ・生物処理が正常に行われていない<br>ので横向流夾雑物除去槽、接触ろ<br>床槽の保守作業(p7~10)を行な<br>う。   |
| ③ pH の測定        | pH 計にて測定                         | ・5.8~8.6 の範囲外                                       | ・循環水量を確認する。<br>適正範囲外の場合は p8 に従って<br>調整する。<br>・過ばつ気による低下が考えられる<br>場合は、循環水量を増やす。<br>・使用者に特殊な薬品類を多量に流<br>していないか確認し、流している場<br>合は改善を促す。   |
| ④窒素の測定          | 簡易測定器(アンモニア態窒素、亜硝酸態窒素、硝酸態窒素)にて測定 | ・アンモニア態窒素、亜硝酸態窒素、硝酸態窒素の総和を 1.3 倍した値が 20mg/L を超えている。 | ・循環水量を確認する。<br>適正範囲外の場合はp8に従って<br>調整する。<br>・適正範囲の調整で改善が見られない場合は実水量に見合った循環水量に見合った循環水量に設定してください。循環水量を下げる場合は、標準値の50%以下にはしないでください。移送管が閉塞する恐れがあります。<br>・アンモニア性窒素が多い場合(3mg/L以上)は硝化不良と判断し、次頁(「窒素除去不良の場合の対処方法」)を参考に対ない場合(3mg/L未満)は脱窒不良と判断し、次頁(「窒素除去不良の場合の対処方法」)を参考に対応する。 |
| ⑤処理水移送<br>装置の汚れ | 目視                               | _   | ・処理水移送装置を洗浄する。 a. キャップを取り外す。 b. 先端からブラシまたはホースを 挿入し洗浄する。 異常が無い場合でも、点検毎に移送 装置の洗浄と移送水量のチェックを 行って下さい。  |
| ⑥処理水移送<br>量     | 目視                               | オリフィスユニオン部の配管に設置                                    | ・処理水槽に水道水などを入れ、移送するかどうか確認する。<br>(処理水槽水位が処理水移送装置の吸込み位置より低い場合は処理水移送は行われません。)<br><移送しない場合><br>a. ユニオンを緩めてオリフィスに 閉塞がないかを確認し、閉塞している時は清掃を行なう。<br>b. 処理水移送装置の洗浄を行なう。  |

| 点検項目           | 点検方法   | 異常な状態                                | 対 策   |
|----------------|--------|--------------------------------------|---|
| ⑦ ミジンコの発<br>生  | <br>目視 | ・ミジンコが大量に発生している。                     | ・0.3%程度の塩素水を少量散布す<br>る。   |
| ⑧サカマキガ<br>イの発生 | 目視     | <ul><li>・サカマキガイが大量に発生している。</li></ul> | ・0.5kg/㎡になるように硫安を加える。消石灰でpHを8.5に調整する。1 週間後に硫安、消石灰を再投入する。以上の作業を駆除できるまで繰り返す。 ・市販のサカマキガイ駆除剤(サカマキラー等)を使用する。 |

#### ◎窒素除去不良時の対処方法



#### (5) 消毒槽

| 点検項目          | 点検方法 | 異常な状態                                    | 対 策                                      |
|---------------|------|--|--|
| ①薬剤筒の取<br>付状態 | 目視   | ・薬剤筒が傾いている。                              | ・正常な位置に取り付け、処理水と<br>消毒剤が接触するようにする。       |
| ②消毒剤の有<br>無   | 目視   | ・消毒剤の減る速度が速い。<br>・消毒剤が減っていない。            | ・消毒槽内の残留塩素濃度を測定し、必要であれば回転式スリットで<br>調整する。 |
| ③槽内沈殿物<br>の有無 | 目視   | <ul><li>沈殿物があり、かつ放流水に濁りが認められる。</li></ul> | ・処理機能に影響がないことに留意<br>して掃除する。              |

- ●消毒剤は残量の多少に応じて補充する。
  - ・消毒剤補充時に、誤って槽内に落とさないように慎重におこなう。
  - ・消毒剤が消毒槽以外の槽で溶解すると、浄化槽内の微生物が死滅して処理性能が悪化する。

#### ○塩素剤の消費期間

- ・塩素消毒剤の消費期間は有効成分含有率によって異なる。
- ・消費期間は使用状況、処理状況により異なるので注意を要する。



人槽については有機系の塩素剤を必ず使うこと)

#### (6) ブロワ

| 点検項目                             | 点検方法              | 異常な状態           | 対 策   |
|----------------------------------|-------------------|-----------------|---|
| ①運転状況                            | 目視                | ・運転が停止している。     | <ul><li>・電源を確認する。</li><li>・ダイアフラムが破損している場合は<br/>修理する。</li></ul> |
| ②配管接続部                           | 空気漏れの音を確認         | ・空気が漏れている。      | ・修理する。  |
| ③音、振動                            | 音や振動を確認。          | ・異常な音、振動がある。    | ・ブロワの足とコンクリート基礎間の<br>隙間が原因であれば、4 本の足が<br>確実に接地するように改善する。        |
| ④エアフィルタ                          | フタを外して上部のフィルタを確認。 | ・汚れたり、目詰まりしている。 | ・掃除または交換。<br>・定期的な交換を推奨。  |
| ※ブロワの取扱説明書に従い、適切な維持管理をおこなってください。 |                   |                 |   |

#### (7) 原水ポンプ槽および放流ポンプ槽

原水ポンプ槽および放流ポンプ槽を設置した場合は水中ポンプの取扱説明書に従い、適切な維持 管理をおこなってください。

## 3. 清掃について

#### 3-1. 清掃時期の目安

清掃は1年に1回以上とする。

ただし、1年未満においても以下のような状態になったときは清掃をおこなう。

- (1) 横向流夾雑物除去槽から接触ろ床槽へ多量の汚泥が流出したとき。
- (2) 横向流夾雑物除去槽のスカムおよび底部の堆積汚泥が著しく蓄積したとき。

第3室底部の汚泥堆積厚が800mm以上のとき。

または、第3室スカム厚が100mm以上のとき。

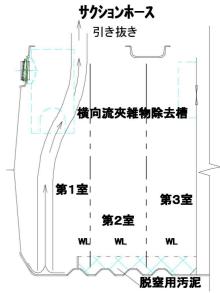
- (3) 緊急時、引抜きが必要と認められるとき。
  - ①接触ろ床槽からの引抜き
    - ・毒性物質の流入等により、接触ろ床槽が機能不全となったとき。 (引抜き量の目安:5 人槽 0.6m3、7 人槽 0.7 m3、10 人槽 1 m3)
    - ・ブロワ停止などの不具合により、接触ろ床槽内に浮上したスカム等の異物を取り除くとき。 (引抜き量の目安:適量)
      - ※接触ろ床槽の清掃をおこなう場合は、散気管破損の恐れがあるため、散気管を取り外した後にサクションホースを槽内に挿入すること。
  - ②処理水槽からの引抜き
    - ・処理水槽に過度にスカム・底部汚泥が蓄積したとき。
- (4) その他、管理者が必要と判断したとき。

#### 3-2. 清掃の手順

- (1) 前作業
  - ①コンセントからブロワの電源プラグを外して、運転を停止する。
  - ②流入管、放流管、流入バッフル、横向流夾雑物除去槽の付着物を除去する。
- (2) 横向流夾雑物除去槽

[スカムを全量、汚泥を第2室、第3室底部の脱窒用汚泥を除き引き抜く]

- ① 横向流夾雑物除去槽上部のスカムをサクションホースで引き抜く。
- ② サクションホースを横向流夾雑物除去槽第1室の流入側の底部に挿入する。
- ③ 内壁に付着している汚泥を圧力水等で洗浄しながら、第1室底部に挿入したサクションホースで引き抜きができなくなるまで槽内水を引き抜く。
- ※横向流夾雑物除去槽は、見掛け上、3室に区分されているが、底 部は連通している。したがって、第1室からの引抜きにより第2室、 第3室の水位も低下することになる。
- ※底部の連通部が蓄積汚泥の影響等で閉塞している場合、第2室、 第3室の水位は第1室と異なる状態となる。引き抜きは、各室の水 位が同じように低下するように蓄積汚泥を圧力水等で洗浄しながら 実施する。



#### (3) 後作業

清掃が終わったら、水準目安線まで水を張る。水張り後、コンセントに電源プラグを差し込んで、ブロワの運転を開始する。

## 4. アフターサービスについて

- (1) アフターサービスと保障については取扱説明書に記載してあります。必要の際はそちらをご確認ください。
- (2) 浄化槽の取扱説明書等を紛失・破損された場合は、弊社までご連絡ください。 直ちにお送りします。 また、各種要領書などは弊社HPよりご確認いただけます。

よん、可性女順音などは弁任いためりに唯心いんだけあり。

(3) その他不明な点は、弊社HP『お問い合わせフォーム』よりお問い合わせください。

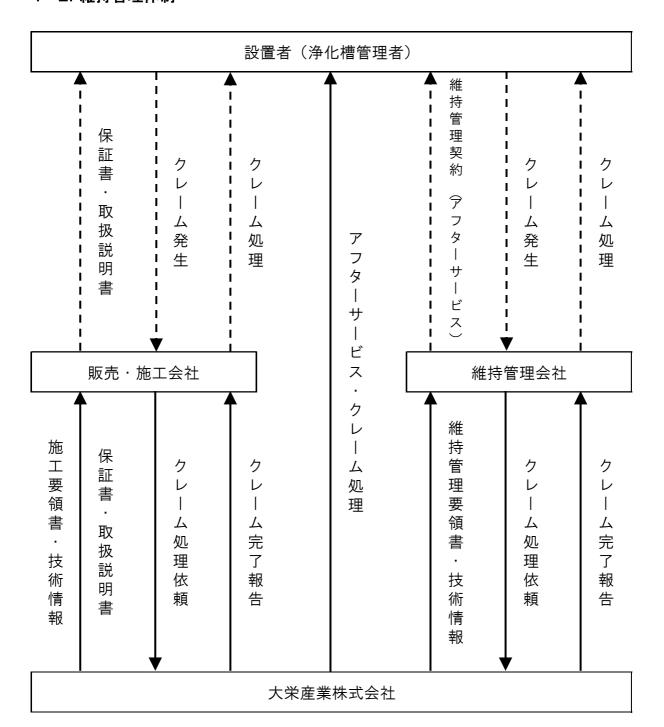
URL: http://www.daie-industry.co.jp/



ホームページ URL QR コード

※「浄化槽法」により浄化槽の維持管理(保守点検・清掃・検査)はお客様に義務付けられています。 これらの費用はすべてお客様のご負担となります。

#### 4-2. 維持管理体制



### 使用開始直前保守点検チェックリスト

| 作 成     |                               | 氏 名     |   |
|---------|-------------------------------|---------|---|
| 保守点検日時  | 年 月 日<br>AM·PM( : )           | 天気・気温   | ∕ °c  |
| 施設又は管理者 | (名称·氏名)<br>(住所)<br>TEL: — — — |         |   |
| 設置年月日   | 年 月 日                         | 使用開始年月日 | 年 月 日   |
| 処理対象人員  | Д                             | 実使用人員   | 人   |
| 計画汚水量   | m³/日                          | 実流入汚水量  | m³/日  |
| 処理方式    | 横向流夾雑物除去接触ろ床<br>循環方式          | 処理水質    | BOD 20mg/L 以下、COD 30mg/L 以下<br>SS 20mg/L 以下、T-N 20mg/L 以下 |
| 浄化槽製造業者 | 大栄産業                          | 型 式     | FCH- (人槽)型  |
| 施工業者    | (名称·氏名)<br>(住所)<br>TEL: — — — |         |   |
| 保守点検業者  | (名称·氏名)<br>(住所)<br>TEL: — — — |         |   |

| チェック項目          | 細    目  | チェック |
|-----------------|---|------|
|                 | ・ 建築物の用途に変更がないか   |      |
| 建築物の            | ・ 浄化槽の容量(人槽)、構造は適切か   |      |
| 用途の確認           | ・ 建築物の用途が多量の油脂類を排出する場合、油脂類を排除する装置が設けられているか                  |      |
| 2.4.株円であ        | ・ 日常の保守点検、清掃作業が支障なくおこなえるか                                   |      |
| 浄化槽周辺の<br>状況の確認 | ・ 流入、放流桝および本槽マンホールから雨水の流入のおそれはないか                           |      |
| 1人次の唯祕          | ・破損、変形、漏水等はないか  |      |
|                 | ・ マンホールを開け、嵩上げ高さや槽内の水面と地表面との距離を確認する                         |      |
| 浄化槽内の           | ・ 水準目安線、流入管底、放流管底等各槽内の水位の関係を調べ、槽の水平、高さが 正常に保持されているか         |      |
| ┃ 状況の確認         | ・ 槽内の観察、装置の操作、試料の採取、薬剤の補充等に支障がないか                           |      |
|                 | ・ 槽内に土砂等が堆積していないか   |      |
| ブロワの稼働          | ・ ブロワおよび空気配管に異常な振動、騒音、発熱がないか                                |      |
| 状況の確認           | ・ ブロワの送風量は規定量あるか  |      |
| #4年427日         | ・ 気泡はほぼ均等に吹き上げられており、旋回流が生じているか                              |      |
| 散気状況<br>の確認     | ・ 散気用バルブを操作してどの程度の調整が可能か確認する                                |      |
| の推認             | ・ 上部配管の継手等に石鹸水を吹き掛ける等により空気漏れの有無を確認する                        |      |
|                 | ・ 循環水移送装置、処理水移送装置にゴミ、土砂、こぼしモルタル、木クズ等が付着または堆積していないか          |      |
|                 | ・ 移送装置の各バルブが目詰まりしていないか確認する                                  |      |
| <br>  移送装置の     | ・ 循環水移送装置のバルブは所定の目盛位置になっているか                                |      |
| 機能の確認           | ・ 循環水移送装置のバルブ設定が各標準目盛位置の場合の循環水量(L/min)を測定する                 |      |
|                 | ・ オリフィスに閉塞がないかを確認する。  |      |
|                 | ・ 移送管の流出部の管底と移送先の水面との落差を測定し、移送先の水位が上昇して<br>も容易に短絡しないことを確認する |      |

### 使用開始直前保守点検チェックリスト

| チェック項目   | 細    目  | チェック |  |  |  |  |
|--|---|------|--|--|--|--|
| 堆積汚泥および<br>処理水槽浮上物<br>の移送機能の<br>確認                           | ・ ひしゃくや自給式ポンプでスカムや堆積汚泥を容易かつ安全に移送できるかどうか   |      |  |  |  |  |
| 流入・放流管渠の   | <ul> <li>生活排水以外の特殊な排水および雨水等が流入していないか</li> <li>施工完了後、管渠内の清掃がおこなわれているか(ゴミ、こぼしモルタル、木クズ、ビニル袋等はないか)どうか</li> <li>建物内へ臭気が逆流しにくいようになっているか</li> </ul>  |      |  |  |  |  |
| 水の流れ方の<br>状況確認   | <ul> <li>流入管渠の桝はインバートが切ってあるか</li> <li>放流落差を確認する</li> <li>最も遠い点検口から水を流し、管渠内の流れ方を確認する</li> <li>流入・放流管渠の途中にポンプ槽が設けられている場合 〕</li> <li>レベルスイッチの管理性およびポンプの能力を確認する</li> </ul>                            |      |  |  |  |  |
| 臭気対策の<br>確 認   | <ul><li>〔 臭突が設けられている場合 〕</li><li>・ その施工状況、臭突の開口部の位置を確認する</li><li>〔 臭突が設けられていない場合 〕</li><li>・ 散気後の排出空気の流れ方向を確認する</li></ul>   |      |  |  |  |  |
| ᄷᄮᄩᅡᄞᄼ   | ・ 浄化槽上部が保守点検、清掃に支障がないよう開放されているかどうか <ul><li>[ 駐車場の場合 ]</li><li>・ 浄化槽が車輌荷重を受けない施工仕様で、適性に工事がおこなわれているかどうか</li><li>[ 上屋付きの場合 ]</li></ul>   |      |  |  |  |  |
| 浄化槽上部の<br>利用状況の<br>確 認                                       | <ul> <li>上部構造物の荷重が浄化槽にかからず、また浄化槽が車輌を含めて上部荷重を受けない施工仕様で、適正に工事がおこなわれているかどうか</li> <li>上屋内の臭気対策は、適切におこなわれているかどうか</li> <li>浄化槽をピット内に設置している場合〕</li> <li>ピット内の作業空間の広さ、雨水や土砂の流入の可能性、ピット内の排水口の有無</li> </ul> |      |  |  |  |  |
| 運転開始   | 等管理上の支障の有無を確認する。 ・ 浄化槽のピーク水量を流入させ、各単位装置内および単位装置間の水の流れを確認する ・ 放流水と消毒剤との接触状況を確認する   |      |  |  |  |  |
| 管理者への説明       ・ 正しい使い方(使用の準則)について説明する         ・ 法的義務について説明する |   |      |  |  |  |  |

所 見

このチェックリストは3年間の保有が必要です。

### 合併処理浄化槽(5,7,10型用)保守点検記録票

| 施設名称                 |    |  |              |                   | 浄              | 浄化槽メーカー・型式 大栄産業・FCH型 |             |                 |              |       |                  |
|----------------------|----|--|--------------|-------------------|----------------|----------------------|-------------|-----------------|--------------|-------|------------------|
| 建築物用途                |    |  |              |                   |                | 理力                   | 7式          | 横向流夾雑物除去接       | 触ろ床          | 循環方式  |                  |
| 浄化槽管理者(設置者)          |    |  |              |                   |                | 守点                   | ī検業者        |                 |              |       |                  |
| 浄化槽管理者(設置者)ふり        | がな | :                                      |              |                   |                | 社信                   | 手所          |                 |              |       |                  |
| 浄化槽管理者(設置者)住所        | ÷  |  |              |                   | 担              | 当者                   | į           |                 |              |       |                  |
| 浄化槽管理者(設置者)電話        | 番号 | =                                      |              |                   | 会              | 社電                   | 話番号         |                 |              |       |                  |
|                      |    |  |              |                   |                |                      |             |                 |              |       |                  |
| 前回点検時                |    |  | <u> </u>     |                   | 8 各単位装置共通      |                      | -tt-        | 12-1 沈殿槽        |              |       |                  |
| 点検日時                 |    |  | <u> </u>     |                   | 衛生害虫の発生状況      |                      | 一次・二次       | 越流せきの水平・固定状況    | $/\!\!\perp$ |       |                  |
| 前回清掃日                |    |  | <u> </u>     | 1                 | 臭気の発生状況        |                      | 一次・二次       | スカムの蓄積状況        | 4            |       | cm               |
| 処理対象人員<br>- 体界 15 75 |    | 人槽                                     |              |                   | 槽内水のオーバーフロー    | _                    | 一次・二次       | 汚泥の蓄積状況         | _            |       | cm               |
| 1 使用状況               |    |  |              |                   | 水位上昇の痕跡        |                      | 一次・二次       | 12-2 処理水槽       |              |       |                  |
| 人員比(BOD負荷)           | _  | 人員比                                    |              |                   | 短絡水流の形成        |                      | 一次・二次       | スカムの蓄積状況        |              |       | cm               |
| 日平均汚水量               |    | 読み値                                    |              | m                 |                |                      | 一次・二次       | 汚泥の蓄積状況         |              |       | cm               |
| 水道メーター等から: m3/日)     |    | 計算結果                                   |              | m <sup>3</sup> /E | 日 隔壁の漏水        |                      | 一次 · 二次     | 13 消毒槽          |              |       |                  |
| 流入の状況                |    | →備考                                    |              |                   | 9-1 一次処理共通     | 第1                   |             | スカム・体積汚泥の蓄積状況   | Ш            |       |                  |
|                      |    |  |              |                   | スカムの蓄積状況       |                      | cm          | 消毒剤の状況(膨潤・閉塞等)  | Ш            |       |                  |
| マンホール等の破損状況          |    |  |              |                   | 汚泥の蓄積状況        |                      | cm          | 消毒剤の接触・調整状況     |              |       |                  |
| スラブの変形・破損等           |    |  |              |                   | 移流口等の状況        |                      |             | 消毒剤の消費状況・補充量    |              |       | kg               |
| 躯体の変形・破損             |    |  |              |                   | 9-2 一次処理共通     | 第2                   | 室以降         | 14-1 水質         |              |       |                  |
| 荷重の状況                |    |  |              |                   | スカムの蓄積状況       |                      | cm          | 好気生物反応槽内DO(mg   | /L)          |       | mg/L             |
| 躯体の浮上・沈下の状況          |    |  |              |                   | 汚泥の蓄積状況        |                      | cm          | 生物反応槽のNOx-N(+・  | —•mg/        | L)    | mg/L             |
| 漏水の状況                |    |  |              |                   | 移流口の状況         |                      | 調整          | 処理水のpH          |              |       |                  |
| 躯体の水平の狂い             |    |  |              |                   | 10 好気性生物反応槽共   | 通                    | 増・ 減        | 槽内水温(℃)         |              |       | °C               |
| マンホールからの雨水・土砂の混入     |    |  |              |                   | ぱっ気撹拌の状況       |                      | →ばっ気量       | 一次処理流出水の透視度     |              |       | cm               |
| 3 管渠                 |    |  |              |                   | 空気配管等(閉塞・破損)   |                      |             | 二次処理流出水の外観      |              |       |                  |
| 管渠の誤接続               |    | →異常部位                                  |              |                   | 微小後生動物の増殖状況    |                      |             | 透               | 児度           |       | cm               |
| 管渠の破損                |    | →異常部位                                  |              |                   | 11-1 接触ばっ気槽    |                      |             | 放流水残留塩素濃度(mg    | /L)          |       | mg/L             |
| 管渠からの雨水・地下水・土砂の混入    |    |  |              |                   | 接触材・移流部の状況     |                      |             | 14-2 窒素除去型水     | 質            |       |                  |
| 流入管渠の勾配不良            |    |  |              |                   | 剥離汚泥の状況        |                      |             | 処理水のNOx-N濃度(mg  | /L)          |       | mg/L             |
| 放流管渠の勾配不良            |    |  |              |                   | 生物膜の状況         |                      | 逆洗無 逆 洗     | 処理水のNH4-N濃度(mg/ | L)           |       | mg/L             |
| 放流管からの逆流             |    |  |              |                   | 逆洗装置の作動状況      |                      | 汚泥移送        | 15 流入(中継)ポン     | プ槽・放         | ス流ポンプ | 槽                |
| 管渠におけるスライム等の付着状況     |    | →異常部位                                  |              |                   | 11-2 担体流動槽     |                      |             | 自動制御機器の作動状況     |              |       |                  |
| 4 ブロワ・制御機器           |    | 沈殿槽汚泥引抜                                |              |                   | 担体の状況(摩耗等)     |                      | 1           | No.1ポンプの作動状況    |              |       |                  |
| ブロワの作動状況             |    | 1回あたりの作動                               | 协時間<br>4     | /                 | 担体の流動状況        | $\overline{}$        | 1           | No.2ポンプの作動状況    |              |       |                  |
| 制御、安全機器の作動状況         | 7  | 1 `                                    |              |                   | 担体の充填状況        | 7                    | 1           | 配管及び配線(漏電等)の状況  |              |       |                  |
| 5 空気配管(埋設管)          | Ĺ  | →・作動時刻<br>(: /                         |              | )                 | 11-3 生物ろ過槽     |                      |             | スカムあるいは汚泥の蓄積状況  |              |       |                  |
| 空気配管の閉塞              |    | 7 /                                    | 7( :<br>)( : |                   | 担体の状況(摩耗等)     |                      | 1           | 清掃の必要性 予算       | Ē            | ( 月   | m <sup>3</sup> ) |
| 空気配管の破損              | Т  | <i>y</i> :                             | )(:          | )                 | ろ過装置流入部の水位     | 1                    | cm          | 早急              | 息に必要         | (     | $m^3$ )          |
| 6 循環装置               |    | 調整前                                    | 調整後          |                   | 逆洗装置の設定        | 1                    | <b>0</b> /8 | 清掃業者への連絡事       |              |       |                  |
| 循環装置の作動・調整状況         |    | L/分                                    |              | L/5               |                | 1                    | 分/回         |                 | ^            |       |                  |
| 7 流量調整装置             |    | 調整前                                    | 調整後          | <del></del>       | 逆洗装置の作動状況      | 1                    |             |                 |              |       |                  |
| 流量調整装置の作動・調整状況       | 7  | □□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□ |              |                   | 47.4.0.4.44.77 | 1                    | 1           |                 |              |       |                  |
| 消耗品、部品の交換            | ľ  |  |              | L/ )              |                | <u> </u>             |             |                 |              |       |                  |
| 消耗品及び交換部品の履歴         |    |  |              |                   |                |                      |             |                 |              |       |                  |
| 所 見                  | •  |  |              |                   |                |                      |             |                 |              |       |                  |

【異常の有無を記入する項目】 0 正常です。 1 調整しました。 2 部品の交換等の改善を行いました。 3 要観察、次回の保守点検まで様子を見ます。 4 部品の交換、修理等の改善が必要です。

〔二次処理流出水の外観〕

0 濁り(微粒子)がほとんどない・水に臭気がない 1 濁り(微粒子)がほとんどない・水に臭気がある 2 濁り(微粒子)が少し認められる・水に臭気がない 3 濁り(微粒子)が少し認められる・水に臭気がない 5 濁り(微粒子)が認められる・水に臭気がある

### 保守点検票対照表

|                   |   | <b>水 7 水水水</b> 7 水水 |   |                        |   |
|-------------------|---|---------------------|---|------------------------|---|
| 1 使用の状況           |   | 8 各単位装置共通           |   | 12-1 沈殿槽               |   |
| 人員比(BOD 負荷)       | 0 | 衛生害虫の発生状況           | 0 | 越流せきの水平・固定状況           | × |
| 日平均汚水量            |   | 臭気の発生状況             | 0 | スカムの蓄積状況               | × |
| (水道メータ等から:m3/日)   | 0 | 槽内水のオーバーフロー         | 0 | 汚泥の蓄積状況                | × |
| 流入の状況             | 0 | 水位上昇の痕跡             | 0 | 12-2 処理水槽              |   |
| 2 躯体・スラブ・マンホール    |   | 短絡水流の形成             | 0 | スカムの蓄積状況               | 0 |
| マンホール等の破損状況       | 0 | 内部設備の変形・破損          | 0 | 汚泥の蓄積状況                | 0 |
| スラブの変形・破損等        | 0 | 隔壁の漏水               | 0 | 13 消毒槽                 |   |
| 躯体の変形・破損          | 0 | 9-1 一次処理装置共通 第1室    |   | スカム・堆積汚泥の蓄積状況          | 0 |
| 荷重の状況             | 0 | スカムの蓄積状況            | 0 | 消毒剤の状況(膨潤・閉塞等)         | 0 |
| 躯体の浮上、沈下の状況       | 0 | 汚泥の蓄積状況             | 0 | 消毒剤の接触・調整状況            | 0 |
| 漏水の状況             | 0 | 移流口等の状況             | 0 | 消毒剤の消費状況・補充量           | 0 |
| 躯体の水平の狂い          | 0 | 9-2 一次処理装置共通第2室以降   |   | 14-1 水質                |   |
| マンホールからの雨水・土砂の混入  | 0 | スカムの蓄積状況            | 0 | 好気性生物反応槽内 DO(mg/L)     | 0 |
| 3 管渠              |   | 汚泥の蓄積状況             | 0 | 生物反応槽の NOx-N(+・-・mg/L) | × |
| 管渠の誤接合            | 0 | 移流口等の状況             | 0 | 処理水の pH                | 0 |
| 管渠の破損             | 0 | 10 好気性生物反応槽共通       |   | 槽内水温(℃)                | 0 |
| 管渠からの雨水・地下水・土砂の流入 | 0 | ばっ気撹拌の状況            | 0 | 一次処理流出水透視度             | 0 |
| 流入管渠の勾配不良         | 0 | 空気配管等(閉塞・破損)        | 0 | 二次処理流出水の外観             |   |
| 放流管渠の勾配不良         | 0 | 微小後生動物の増殖状況         | 0 | 透視度                    | 0 |
| 放流管からの逆流          | 0 |                     |   | 放流水残留塩素濃度(mg/L)        | 0 |
| 管渠におけるスライム等の付着状況  | 0 | 接触材・移流部の状況          | 0 | 14-2 窒素除去型水質           |   |
| 4 ブロワ・制御機器        |   | 剥離汚泥の状況             | 0 | 処理水の NOx-N(mg/L)       | 0 |
| ブロワの作動状況          | 0 | 生物膜の状況              | 0 | 処理水の NH4-N 濃度(mg/L)    | 0 |
| 制御、安全機器の作動状況      | × | 逆洗装置の作動状況           | 0 | 15 流入(中継)ポンプ槽・放流ポンプ槽   |   |
| 5 空気配管(埋設管)       |   | 11-2 担体流動槽          |   | 自動制御機器の作動状況            | 0 |
| 空気配管の閉塞           | 0 | 担体の状況(摩耗等)          | × | No.1 ポンプの作動状況          | 0 |
| 空気配管の破損           | 0 | 担体の流動状況             | × | No.2 ポンプの作動状況          | 0 |
| 6 循環装置            |   | 担体の充填状況             | × | 配管及び配線(漏電等)の状況         | 0 |
| 循環装置の作動・調整状況      | 0 | 11-3 生物ろ過槽          |   | スカムあるいは汚泥の蓄積状況         | 0 |
| 7 流量調整装置          |   | 担体の状況(摩耗)           | × |                        |   |
| 流量調整装置の作動・調整状況    | × | ろ過装置流入部の水位          | × |                        |   |
|                   | Ì | 逆洗装置の設定             | × | 清掃の必要性                 | 0 |
| 消耗品、部品の交換         | 0 | 逆洗装置の作動状況           | × |                        |   |
| 消耗品及び交換部品の履歴      | 0 | 担体の充填状況             | × | 清掃業者への連絡事項             | 0 |
| 所見                | 0 |                     |   |                        |   |
| 7775              | Ŭ |                     | 1 |                        |   |

〇:要チェックまたは推奨する項目 ×:不要な項目

【(一社)全国浄化槽団体連合会:小型合併処理浄化槽保守点検記録票】

#### 浄化槽清掃記録票

| 清掃業者                         |                  |                  |                                  |
|------------------------------|------------------|------------------|----------------------------------|
| 担当者                          |                  |                  |                                  |
| 会社住所                         |                  |                  |                                  |
| 会社電話番号                       |                  |                  |                                  |
| 設置名称<br>(使用者名等)              |                  | 前回の清掃実施日         | 年 月 日                            |
| 建築物用途                        |                  | 清掃予定日            | 年 月 日                            |
| 浄化槽管理者<br>(設置者)              |                  | 清掃実施日            | 年 月 日                            |
| ふりがな                         |                  | 計画汚泥引抜単位装置       |                                  |
| 住 所 (地図のページ数)                | ( )              |                  | を触ろ床槽 処理水槽 消毒槽<br>ヘポンプ槽 放流ポンプ槽   |
| 電話番号                         |                  | 清掃対象単位装置の総容量     | 5人:1.074、7人:1.471、10人:2.071 (m³) |
| 設置場所                         |                  | 使用車両 (バキューム車・汚泥濃 | 縮車・汚泥脱水車)                        |
|                              |                  | 清掃汚泥量(搬出汚泥量)     | (m³)                             |
|                              |                  |                  | 槽容量に対する<br>清掃汚泥量 水張り量            |
| 浄化槽のメーカー・型式                  | 大栄産業・FCH型        | 中継ポンプ槽・流入ポンプ槽    | % —                              |
| 処理方式                         | 横向流夾雑物除去接触ろ床循環方式 | 一次処理装置第1室        | % %                              |
| 処理対象人員                       | 5 ・ 7 ・ 10 人槽    | 一次処理装置第2室以降      | % %                              |
| 計画日平均汚水量                     | m³/日             | 二次処理装置           | % %                              |
| 設置年月日                        | 年 月 日            | 放流ポンプ槽           | % —                              |
| 使用開始年月日                      | 年 月 日            | 管渠の洗浄 (方法)       | 有・無(水道水・高圧洗浄・その他)                |
| 中継ポンプ槽・流入ポンプ槽の有無             | 有 · 無            | 内部設備の変形・破損・漏水    | 無 · 変形 · 破損 · 漏水                 |
| 油脂分離槽の有無                     | 有 • 無            | 異物等の流入           | 有 • 無                            |
| 放流ポンプ槽の有無                    | 有 • 無            | 清掃汚泥の処分先         |                                  |
| 特記事項(・内部設備の変形破損の保守点検業者への連絡事項 | 状況、全量引抜いた場合の理由等) |                  |                                  |

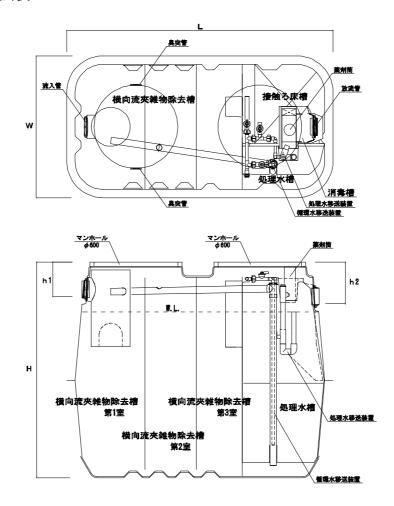
### 清掃記録票対照表

| 項目記録示例記入例   |   |  |  |  |  |  |
|---|---|--|--|--|--|--|
| 浄化槽のメーカー・型式   | 0 | 大栄産業・FCH 型   |  |  |  |  |
| 処理方式  | 0 | 横向流夾雑物除去接触ろ床循環方式   |  |  |  |  |
| 処理対象人員(人槽)  | 0 | 5.7.10   |  |  |  |  |
| 計画日平均汚水量  | 0 | 1.0 - 1.4 - 2.0  |  |  |  |  |
| 設置年月日   | 0 | 1.0 1.4 2.0  |  |  |  |  |
| 使用開始年月日   | 0 |  |  |  |  |  |
| 中継ポンプ槽・流入ポンプ槽の有無  | 0 |  |  |  |  |  |
| 油脂分離槽の有無  | 0 |  |  |  |  |  |
| 放流ポンプ槽の有無   | 0 |  |  |  |  |  |
| 計画汚泥引抜単位装置  | - |  |  |  |  |  |
| 横向流夾雑物除去槽(接触ろ床槽)<br>(処理水槽)(消毒槽)(管渠)<br>(中継ポンプ槽)(流入ポンプ槽)(放流ポンプ槽) | 0 | <u>※( )は状況に応じて清掃</u><br>5 人:1.074m <sup>3</sup> 、7 人:1.471m <sup>3</sup> 、 |  |  |  |  |
| 清掃対象単位装置の総容量(流量調整部容量を含む)  | 0 | 10 人:2.071m³   |  |  |  |  |
| 使用車両  | 0 |  |  |  |  |  |
| 清掃汚泥量(搬出汚泥量)  | 0 |  |  |  |  |  |
| 中継ポンプ槽・流入ポンプ槽   | 0 |  |  |  |  |  |
| 一次処理装置第1室   | 0 |  |  |  |  |  |
| 一次処理装置第2室以降   | 0 |  |  |  |  |  |
| 二次処理装置  | Δ |  |  |  |  |  |
| 放流ポンプ槽  | Δ |  |  |  |  |  |
| 管渠の洗浄(方法)   | 0 |  |  |  |  |  |
| 内部設備の変形・破損・漏水   | 0 |  |  |  |  |  |
| 異物等の流入  | 0 |  |  |  |  |  |
| L   | + |  |  |  |  |  |

〇:記入箇所

△:状況に応じて記入

### ■ 仕様・寸法表



| 型式         |                | FCH5型          | FCH7型   | FCH10型  |  |  |  |  |
|------------|----------------|----------------|---------|---------|--|--|--|--|
| 人槽         |                | 5              |         |         |  |  |  |  |
| Я          | 卟 槽 材 質        | P              | P       | FRP     |  |  |  |  |
|            | 横向流            | 1.074          | 1.471   | 2.071   |  |  |  |  |
| 有          | 夾雑物 [[弗  至]    | [0.429]        | [0.590] | [0.828] |  |  |  |  |
| 効          | 除去槽 [第2室]      | [0.346]        | [0.461] | [0.626] |  |  |  |  |
|            | [第3至]          | [0.299]        | [0.420] | [0.617] |  |  |  |  |
| 容量         | 接触ろ床槽          | 0.364          | 0.492   | 0.678   |  |  |  |  |
| 里<br> (m³) | 処 理 水 槽        | 0.141          | 0.215   | 0.291   |  |  |  |  |
| (111)      | 消毒槽            |                |         |         |  |  |  |  |
|            | 総 容 量<br>全 長 L | 1.600          | 2.199   | 3.061   |  |  |  |  |
|            | 全 長 L          | 1,900          | 1,920   | 2,520   |  |  |  |  |
|            | 全 幅 W          | 1,020          | 1,320   | 1,320   |  |  |  |  |
| 寸          | 全 高 H          | 1,520 (1,550)  |         |         |  |  |  |  |
| `          | 流入管底 h1        | 220 (250)      |         |         |  |  |  |  |
|            | 放流管底h2         | 270(300)       |         |         |  |  |  |  |
| (mm)       | 流入管径           | φ100           |         |         |  |  |  |  |
|            | 放 流 管 径        | φ100           |         |         |  |  |  |  |
|            | マンホール          | $\phi$ 600 × 2 |         |         |  |  |  |  |
| ブ          | 方 式            | 電磁式            |         |         |  |  |  |  |
|            | 電 源 (V)        |                |         |         |  |  |  |  |
|            | 送 風 量(L/分)     | 50             | 60      | 80      |  |  |  |  |
|            | 消費電力(W)        | 28             | 35      | 51      |  |  |  |  |

<sup>()</sup>内はマンホール上部からの寸法